

# 人権だより

No.10 発行日 R2.2.21



## 今月の人権標語

知らんぷり 見ていた私も 共犯者

「おかげさまで」

商業科 若藤 太

夏が来ると「冬がいい」と言う 冬が来ると「夏がいい」と言う  
太ると「痩せたい」と言い 痩せると「太りたい」と言う  
忙しいと「暇になりたい」と言い 暇になると「忙しいほうがいい」と言う  
自分に都合のいい人は「善い人だ」と言い 自分に都合が悪くなると「悪い人だ」と言う

借りた傘も、雨が上がれば邪魔になる 金を持てば、古びた女房が邪魔になる  
所帯を持てば、親さえも邪魔になる 衣食住は昔に比べりゃ天国だが  
上を見て不平不満に明け暮れ 隣を見ては愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのか 静かに考えてみるがよい  
一体自分とは何なのか

親のおかげ 先生のおかげ  
世間様のおかげの固まりが自分ではないか  
つまらぬ自我妄想を捨てて 得手勝手を慎んだら  
世の中はきっと明るくなるだろう

「俺が」、「俺が」を捨てて  
「おかげさまで」、「おかげさまで」と暮らしたい。

この詩は元プロ野球選手で、様々な球団で監督もされていた野村克也さん(ぼやきのおじさん)が書かれた「野村ノート」から抜粋したものです。調べてみると上かみどころしげすけ所重助という詩人の方の詩だそうです。私はこの詩を読んで、自分自身に「感謝の心」が欠けているということに気づかされました。この世の中に、当たり前のことなんか何もなく、また自分一人のできる事なんて、ほとんどない。周りの人の力を借りているんなことできていたことに気づかせてくれました。現在、社会では自己中心性が強く、他者意識が薄れているように感じます。私はこの詩のように「おかげさまで」と感謝の気持ちを持って生活していきたいと思います。

## ☆ みんなの声 ~前回の人権だよりを読んで~ ☆

<生徒からの声>

- AIはとても便利なものだと思いますが、「感情」というのはやはり人間がそれぞれで持つもので、AIにはないものなので、人間とAIが両方とも上手に生きていける世の中になってほしいです。
- AIが誕生したメリットとデメリットを考える授業をしていただいたことがあります。私は、AIと人間は適度な距離感を持つことで互いに良い関係が築けると思います。
- AIが働く社会で、人間が仕事を奪われたとしても、AIにも限界があり、AIに適していない仕事もあります。奪われるのではなく、人間が好きな職業に就ける未来が来ると考えると良いかなと思います。
- 人間を機械が超える日というのはいつか本当に来てしまうかもしれないけれど、心を持っている人間が活躍できる未来であってほしいと思います。
- 僕は、今回の人権だよりを読んで、AIに負けない人間になるべきだと思いました。正確性、スピード、情報処理能力など勝てない分野はあるけれど、しっかりと今学習し幅広い知識を身に付けることで、AI社会でも生きていける人になりたいです。

<保護者からの声>

- 古い考えかもしれませんが、スマホ決済には抵抗があります。個人情報収集されていると思うと使う気になれません。しかし、これからの時代は必要なことなのかなと思っています。
- もし手術をしないといけなくなったとき、自分の人生をAIに任せると思うと、不安しかありません。だから、時と場合に応じてAIを使用するべきだと思いました。

きりとり

### 【保護者用】

今月の人権だよりを読んでの感想をお願いします。 ※締切り2月28日(金)

( )年 保護者


きりとり

### 【生徒用】

今月の人権だよりを読んでの感想をお願いします。 ※締切り2月28日(金)

( )年 ( )組


